

# 生活・学習のための 4技能の総合的教材の 開発とその活用

—子どもが進んで取り組む日本語学習を目指して—



長野県松本市子ども日本語教育センター

百瀬千里・加藤美乃里

# 長野県松本市の特徴

- ・ 散在地域のため、専任教員はほとんどいない。
- ・ 日本語指導の必要な児童、生徒数は40～60名
- ・ 1校に多くて5～6人、1人しかいない学校も多い。
- ・ 外部支援者（松本市子ども日本語教育センターの日本語教育支援員）が学校へ派遣される。

# 実践の背景と目的

- ・おしゃべりができても、読み書きができない・・・
- ・学校文化を知らなく、生活の適応に時間がかかる・・・



- ・学習参加のためには、読み書きの力は不可欠
- ・言葉の支援だけでなく、学校適応も視野に入れた指導が必要



『学校生活のためのほんご やまのぼり』  
を作成し、実践した。

はじめに	3
日本語指導のための Q&A	4
テキストガイド	10

1  
合目



とうこう	22
あさのかい	25
じゅぎょう	27
やすみじかん	35
じゅぎょう・たいいく	37
きゅうしょく	40
そうじ	42
かえりのかい	44

2  
合目



「やまのぼり」の ともだちしょうかい!	46
1か とうこう ～どうろで～ これ・それ・あれ/～は～です/疑問詞「なん」	48
2か あさのかい ～は～ですか/～じゃありません/疑問詞「だれ」	54
3か きょうの じゅぎょう ～から～まで/時間割、教科の名前	60
4か さんすう 数字や式の読み方	66
5か なつ休み ～は～でした<時制>/疑問詞「いつ」	72

<web 版>

もういっぼ① じかんの ことば 時計の読み方	
もういっぼ② ものの かぞえかた 助数詞	
もういっぼ③ かずの ことば 大きい数の読み方、買い物のことば	
もういっぼ④ きゅうしょく 助詞「と」「や」「の」	
もういっぼ⑤ えんそくの れんらく 行事の連絡	
もういっぼ⑥ おべんとう 日本のお弁当文化	



もういっぼ⑦ いろ・かたち・きごう 記号や図形の名前  
2合目の ふりかえり

3  
合目



1か きゅうしょくの 前に ～は～にあります・います/疑問詞「どこ」/位置詞	80
2か あゆみさんと カイさん ～は～ます・ません/O時に～ます/助詞「へ」	86
3か めいさんの 休日 ～は～を～ます・ますか/疑問詞「なに」	92
4か きノウ したこと ～は～を～ました・ませんでした<時制>	98
5か いどう教室 場所を表す助詞「で」	104
6か 工事を しましょう 道具を表す助詞「で」	110
7か しゅうがくりょこう 手段を表す助詞「で」	116
8か ももたろう 授受構文	122
9か 何を したい? 何が ほしい? ～はOO [名詞] がほしいです/～は～が～ [動詞] たいです	128

<web 版>

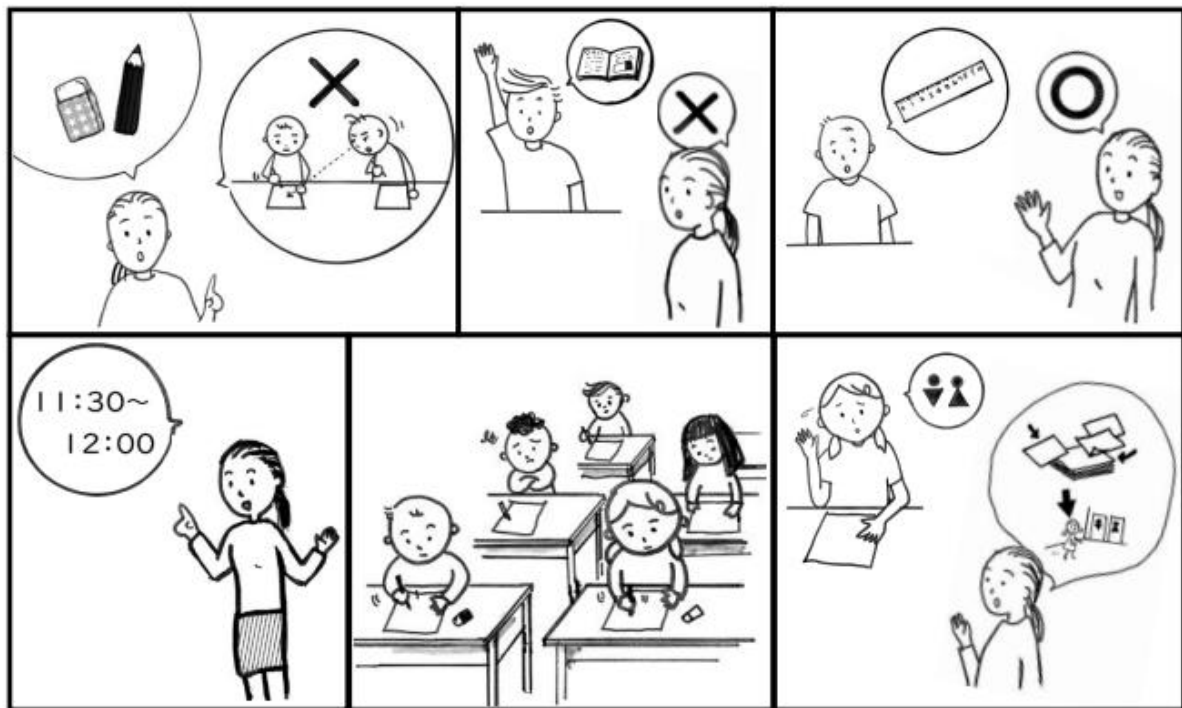
もういっぼ⑧ そうじの ことば そうじ用具の名前、作業のことば	
もういっぼ⑨ いいん会の しごと 係や委員会の仕事	
3合目の ふりかえり①	
3合目の ふりかえり②	


4  
合目



1か わたしの もちもの 様子を表す形容詞/疑問詞「どう」	136
2か おとしもの 形容詞の連体修飾/疑問詞「どんな」	142
3か ドッジボール ～は、～かったです<時制>	148
4か 算数 比較/疑問詞「どちら」「どれ」/単位のことば	154
5か 自転車教室 交通ルール/様子を表す形容動詞	160
6か 友だちを しょうかいしましょう 形容動詞の連体修飾	166

## 2 か きまりを 守りましょう



 おぼえましょう

- となりの人のテストを 見てはいけません。
- A: 教科書を 見てもいいですか。  
B: いいえ、見てはいけません。
- A: じょうぎを 使ってもいいですか。  
B: はい、じょうぎを 使ってもいいです。

3時間目に、算数のテストがあります。テストの前に、先生がせつ明します。

先生 「 みなさん、これから算数の図形のテストをします。つくえの上に、えんぴつと消しゴムを 出してください。となりの人のテストを 見てはいけません。」

カイ 「 先生、教科書を 見てもいいですか? 」

先生 「 いいえ、見てはいけません。」

サム 「 じょうぎを 使ってもいいですか? 」

先生 「 はい、じょうぎを 使ってもいいです。では、テストを始めます。時間は 12時まで、30分間です。」

テストが終わりました。

あゆみ 「 先生、今、トイレへ 行ってもいいですか? 」

先生 「 少し待ってください。まず、テストを集めます。それから、トイレへ 行ってもいいです。」

あゆみ 「 はい、わかりました。」

## ことば



・せつ明めいします

・始はじめます ⇔ 終おわります

「これから、日本語のじゅ業ぎょうを始はじめます。おねがいします。」

「これで、日本語のじゅ業ぎょうを終おわります。ありがとうございました。」

## ひょうげん

・～の前まえに ⇔ ～の後あとに

「きゅう食しょくの前まえに、手てをあらいます。」 「きゅう食しょくの後あとに、そうじをします。」



・まず……。それから……。

「まず、手てをあらいます。それから、きゅう食しょくを食たべます。」

## いいましょう



① れいとおな同じように 文ぶんをかえましょう。

1. れい) ろう下かを 走はしります。 → ろう下かを 走はしってはいけません。

- ① 教科書きょうかしょを 見みます。 →
- ② 教室きょうしつで おかしたを食べます。 →
- ③ 道路どうちの左ひだりを 歩あります。 →
- ④ 友だちともを たたきます。 →

2. れい) 教室きょうしつで本ほんを 読よみます。 → 教室きょうしつで本ほんを 読よんてもいいです。

- ① ボールペンで 書かきます。 →
- ② 校庭こうていで サッカーをします。 →
- ③ 休み時間やすみじかんに 水みずを飲のみます。 →
- ④ 校長室こうちやうしつに 入はいります。 →

3. れい) トイレへ 行いきます。 → トイレへ 行いってもいいですか。

- ① このチョコレートたを 食たべます。 →
- ② ここで 勉強べんきやうします。 →
- ③ スプーンを 使つかいます。 →
- ④ このジュースを 飲のみます。 →

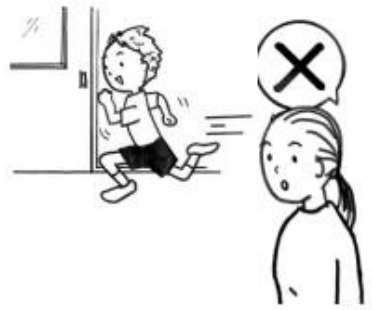
② ことばをならべて、正ただしい文ぶんにしましょう。

- 1. 見みては / 友だち / の / いけません / を / テスト / 。
- 2. か / 飲のんでも / を / 水みず / いいです / 。
- 3. 3さつ / かりても / 図書館としよかん / いいです / 本ほん / で / を / 。

🗨️ はなしましょう

学校やクラスのルールについて、話しながら考えてみましょう。

- 例) 先生 「廊下を走ってはいけませんよ。」  
 子ども 「どうですか。」  
 先生 「あぶないですから。」  
 子ども 「体育館で走ってもいいですか。」  
 先生 「いいですよ。」



📖 よみましょう

日本の学校には、たくさん ルール(きまり)があります。たとえば、  
 「教室でおかしを食べてはいけません。」 「じゅ業中にスマホを使ってはいけません。」  
 「休み時間に家へ帰ってはいけません。」 「ろう下を走ってはいけません。」

みんながルールを守ります。 → 学校は、楽しいです。

だれもルールを守りません。 → 学校は、楽しくないです。



✍️ かきましょう

みなさんの学校のルールを 書きましょう。

れい) ろう下を走ってはいけません。  
 シャープペンシルを使ってもいいです。

アメリカは、やすみじかんにおかしを食べてもいいです。
日本は、やすみじかんにおかしを食べてはいけません。
アメリカは、お昼の前に、うちにかえってもいいです。
日本は、かえってはいけません。
アメリカは、子どもだけでかえってはいけません。
日本は、子どもだけでかえってもいいです。

# 実践の内容

## 実践例 1 読み書きのハードルを下げる

- 役割分担して音読する。
  - 読む負担が軽減され、進んで読むようになった。
  - 誰のセリフか、また、会話文と地の文の区別ができるようになった。
- 学習した文型で書かれたまとまりのある文章を読む。
  - 無理なく内容を理解できた。
  - 読むことへのハードルが下がり、本に興味を持った。





## 2合目1課の「よみましょう」

### よみましょう

これは、なんですか。  
それは、かばんです。



あれは、なんですか。  
あれは、すいとうです。  
えいごで Water Bottle です。  
にほんごで すいとうです。



### よみましょう

わたしは、毎日 6時半に おきます。  
7時半に 学校へ 行きます。  
午後3時半に 家へ 帰ります。  
午後5時から 6時まで べんきょうします。  
夜の 10時に ねます。

弟 も 6時半に おきます。  
弟 は、ぜんぜん べんきょうしません。  
9時に ねます。 時々 10時に ねます。



## 3合目2課の「よみましょう」

## 5合目1課の「よみましょう」

### よみましょう

リサイクル委員会は、1学期に2回、アルミかんを集めます。それをリサイクルの会社が買います。お金は、児童会の活動で使います。

リサイクル委員から、クラスみんなに 連らくがあります。  
委員 「 きょ年、くさいアルミかんがありました。大へんでした。アルミかんをあらってください。それから、アルミかんをつぶしてください。ゴミのかさがへります。 」  
先生 「 みなさん、わかりましたか。きょう力してくださいね。 」



・おしゃべりはできるが、作文を書くとき助詞がぬける。

→ 文の並べ替え問題で助詞の存在や機能に意識を向けさせる。

→ 助詞に意識が向き、話し言葉と書き言葉の違いを視覚的に学ぶことができた。

2 ことばをならべて、<sup>ただ</sup>正しい文<sup>ぶん</sup>にしましょう。

1 見ては / 友<sup>とも</sup>だち / の / いけません / を / テスト / 。

2 か / 飲<sup>の</sup>んでも / を / 水<sup>みず</sup> / いいです / 。

3 3さつ / かりても / 図<sup>と</sup>書<sup>しょ</sup>館<sup>かん</sup> / いいです / 本<sup>ほん</sup> / で / を / 。

3さつ

かりても

としょかん

いいです

本

で

を

としょかん

で

本

を

3さつ

かりても

いいです

。

② 上の文を ぜんぶ書きましょう。(たてに書きましょう。)

へす  
 す。  
 ぞ  
 も  
 た  
 の  
 し  
 か  
 の  
 た  
 は  
 わ  
 か  
 っ  
 た  
 ぞ  
 い  
 だ  
 け  
 ソ  
 ソ  
 ×  
 き  
 の  
 う  
 わ  
 た  
 し  
 が  
 マ  
 マ  
 う  
 う

かきましょう

友だちのことを書きましょう。

年組です。

(わたし / ぼく) の友だちは、-さんです。

わたしのともだちはやさしくてしずかです。わたしは

ちがだいすきです。ちゃんが

もだいすきです。だからまにちちゃんとわたし

はあそびます。ちゃんといしょにおうちに

かえるからやさしいです。わたしとちゃん

が年組だったからやさしいです。

## 実践例 2 行事に無理なく参加するために

- ・ 学校文化を知らないため、何のために行うのか理解できないまま参加している。

例) 通学路を守らない。

毎日走ってはいるが、そもそもマラソンを走る意義がわからない。など

- ・ みんなと同じように学校行事に参加できない。

例) 集合時間をまちがえる。 持ち物がそろわない。など



行事に困惑したまま参加したり、参加できず子どもや親が困る。

お便りを渡し説明してもうまく伝わらず、教師も困惑する。



- お便り例で、情報の読み取りポイントを確認した。
- 実際に配布されたお便りを一緒に読み、大切なポイントがわかった。
- 集合時間や持ち物など気にかけて、自主的に質問するようになり、お便りが読めない保護者に伝えられるようになった。
- 学校生活が安定することで、学習意欲につながる。
- 教師側も子どもが何で困っているのか意識が向くようになった。

遠足のお知らせ

日時 : 5月15日(水)

集合 : 8時20分

場所 : アルプス公園

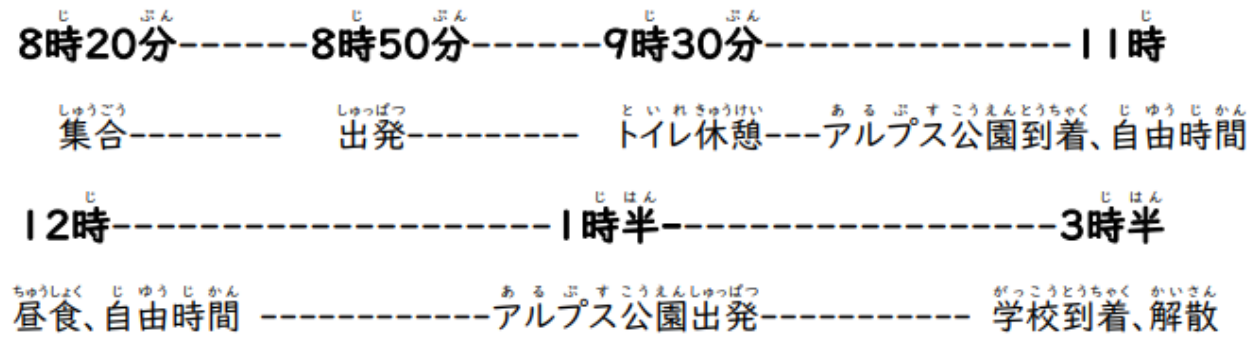
持ち物 : お弁当 水筒 しきもの タオル かっぱ ビニールふくろ

服装 : たいそうふく

赤白ぼうし



日程



# 結果と考察

## ① 子どもたちの姿の変容

- ・読み書きに対し、抵抗を示すことが少なくなった。

## ② 支援員の意識の変化

- ・文型だけを教えるのではなく、子どもにとって今どんな言葉が必要なのか、目が向くようになった。

## ③ 学校教員の意識の変化

- ・日本語支援員と情報共有して、原学級での日本語が母語でない子どもへの配慮の仕方など工夫を始めた。

## ④ 今後の課題

- ・日本語の課題が様々な子ども（例えば日本生育や学び直しの児童生徒）へいかに活用できるか実践例が少ない。

→ 教材を活用した実証を重ね、検証していく。